

さくら前線

まつり どんかん祭を知ろう!

毎年9月22日・23日に、太宰府天満宮の行事『神幸式大祭』通称『どんかん祭』が催されます。今回はそのお祭りをくわしくご紹介！みんなで行こう！とはお誘いできないけれど、行ける人は行って見てね。今年行けない人も、ぜひ一度は見てほしい貴重な行事です。

発行：水城小コミュニティ・スクール事務局
(水城小学校内 さくらルーム)
OPEN：毎週水曜日 10:30~14:00
連絡先：092-923-3048 (水城小学校)

榎社は6年生の史跡解説でも取り上げる場所の1つだよ！

《お祭りの起源》

平安時代(今から約1200年前)、無実の罪をさせられ、京都からはるか遠い大宰府に来させられた菅原道真は、今の榎社の所にあった粗末な館(家)に閉じ込められ、冷たい扱いを受けていました。

しかし浄妙尼というおばあさんが、不自由な暮らしをする道真を気の毒に思い、こっそりとお世話をしました。現在太宰府の名物となっている梅ヶ枝餅は、浄妙尼が梅の枝とともに道真に差し入れたおもちが始まりとされています。



どんかん祭は、このおばあさんへの感謝として、榎社をお参りするもので、900年以上続く行事です。



榎社の裏手に浄妙尼をまつる小さなお宮があって、道真の御神霊を入れたお神輿は、まずそこへあいさつに行くんだよ。

《お祭りの流れ》

22日夜 太宰府天満宮から、道真の御神霊が神輿に乗り、榎社まで行列を組んでやってきます。白や黄色の装束の、100人を超える従者が行列を成し、牛車を牛が引き、神主は馬に乗って来ます。道中にはちょうちんが飾られます。



一番先頭に太鼓と鐘をかつぐ人がおり、太鼓を「ドン！」鐘を「カーン」と鳴らします。その音が印象的であることから、「どんかん祭」と呼ばれて親しまれています。

23日昼 榎社境内で舞が奉納されたあと、前の晩と同様に行列を組んで榎社を出発し、天満宮に戻っていきます。



平安時代を再現したような行列がだんだん近づいて来るおごそかな様子は、他では体験できない貴重な光景よ。



シトラスリボンプロジェクト



今年三校いっしょに取り組みます。学中はリボンを作り、小学生がメッセージを書いたものを地域へ配ります。水城小のみなさんは、秋休み前後にメッセージを書く予定です。

ぎょうじへんこう 行事変更のお知らせ

今年も多くの行事が中止・変更となっています。残念ですね。

- ◆ どんかんまつり：行事縮小
行列と神事の見学はできます。
夜なのでおうちの人と一緒に行ってね！
- ◆ 古都の光：中止
- ◆ 体育の日行事：中止

